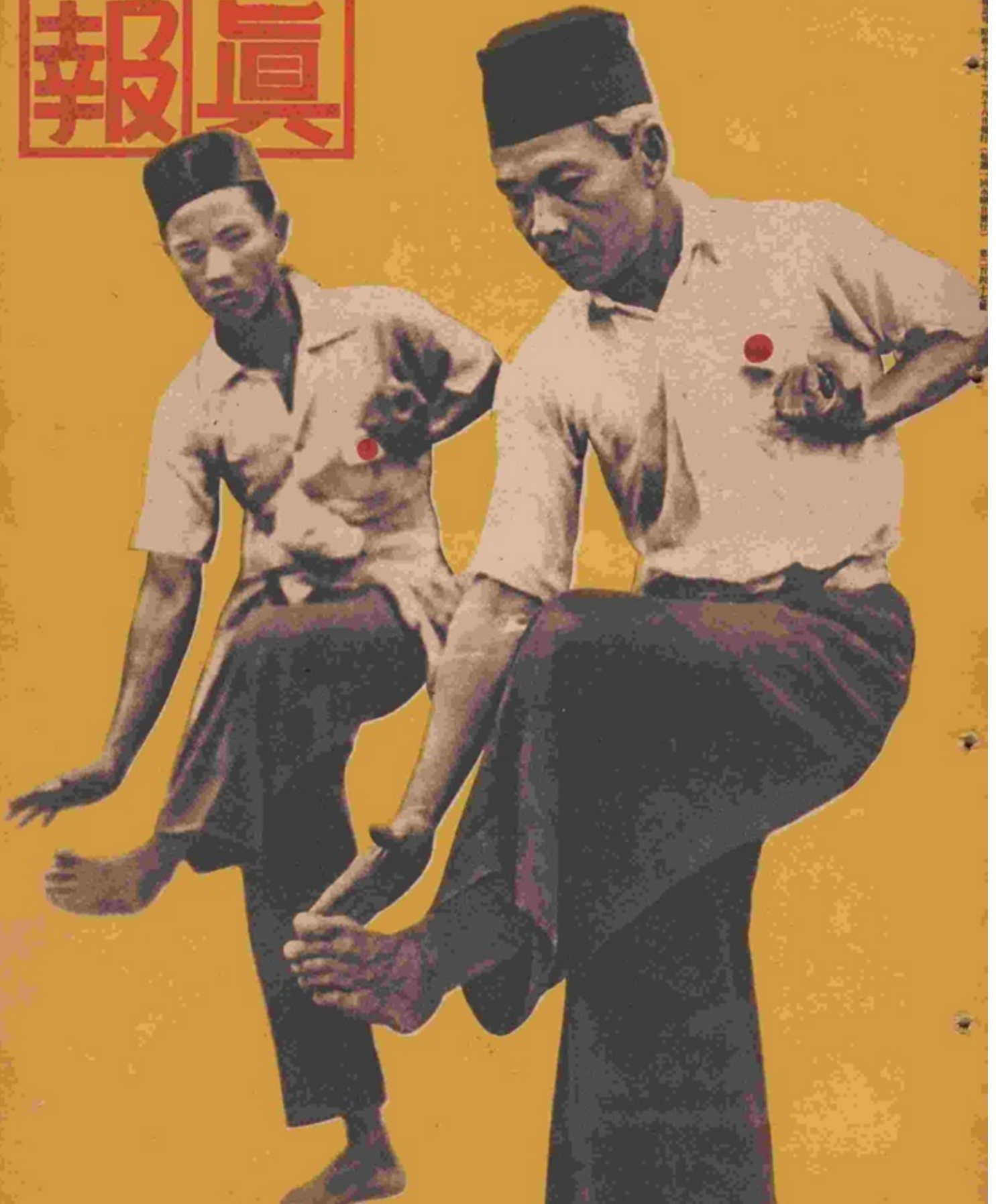


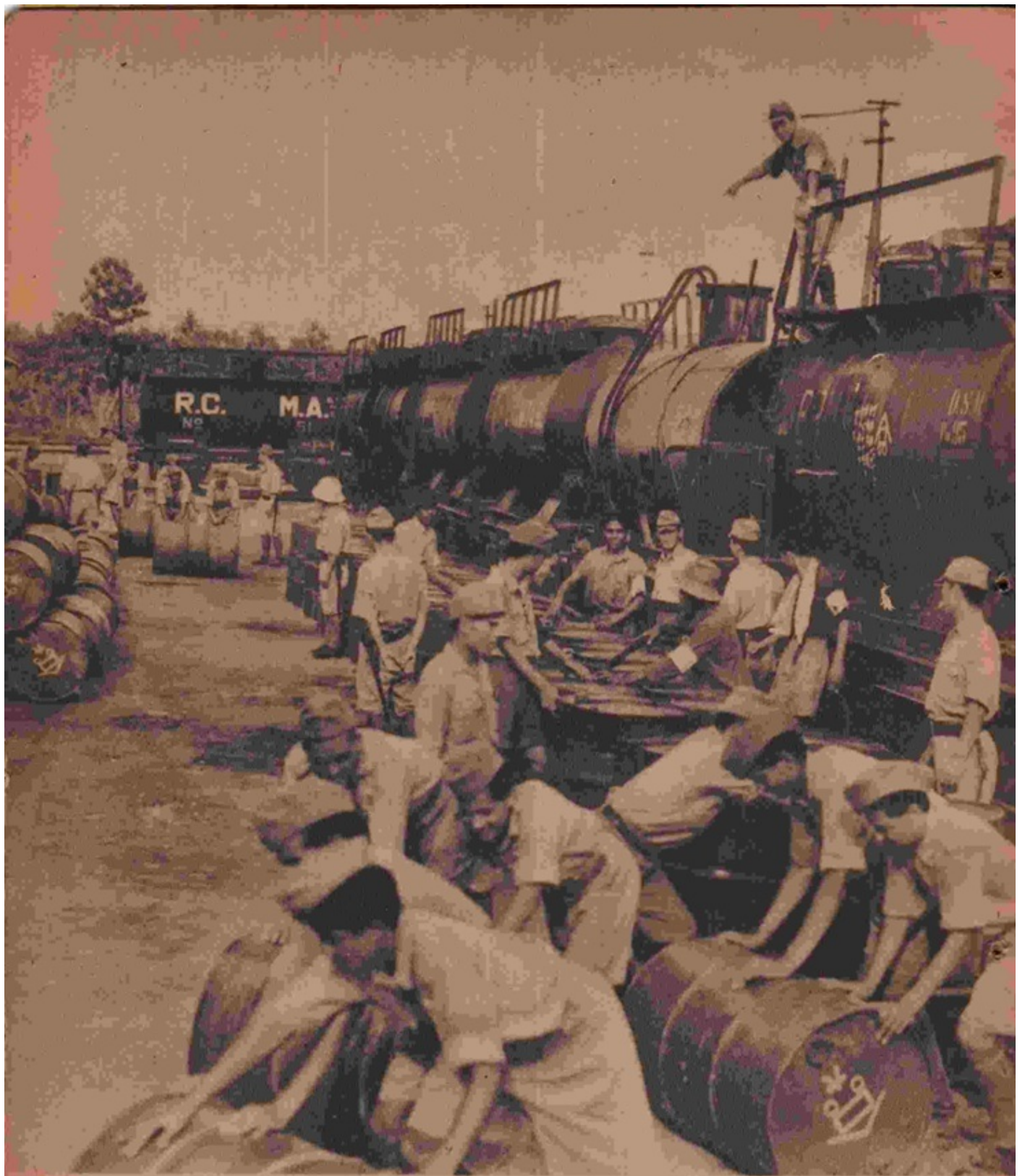
情 報 局 編 輯

十一月十八日 第二十四十七號

寫 眞
週 報



血をもつて獲得した南方は
靴屋でも、洋服屋でもない
南方は今日も、なほ戦場の心を
心としてゐる
南の最大の魅力は建設への
ひたむきな努力、これだ



南方建設 から慕

大東亞戦争一周年も間近な日、現地からの報道によると、方の建設工作は着々その實を上げ、現地人の協力態勢も日ともに眞髓を加へて來てゐるわが將兵によつて身をもつ示された建設へのひたむきな力、それを知れば知るほど理人はもとより、俘虜さへも軍指導の下に働くことのようにを生れて初めて知つたのだつ

○の標材廠で軍軍に協力する現地の人々

撮影 陸軍報道

昭南 駆はゴムの洪水

撮影 陸軍報道班

⇒ 根接木して三年のゴムの木、木の間には野菜も栽培して食糧増産に一役つとめてゐる

毎朝、幹に切込みをすると切口から見る／＼ゴムの液が流れ出す。植林して十五、六年目が一番ゴムの排出が多い

豊富な資源をかたむけて軍備に狂奔するアメリカでも、さすがにゴム不足には深刻に悩んで、乗用自動車タイヤ供給を極度に制限したといはれてゐる。南方占領地のゴム生産高は世界産額の約八割にあつてゐる。一九三九年の統計によればマレーだけでも世界産額の五割、四十六万一千トンを産出しその三分の二がアメリカに輸出されてゐたのだが、わが占領とともにこれがびたりとこまつた



